

令和3年度 第2回 上市町総合教育会議 会議記録

日 時 令和4年2月28日(月)
9時00分～10時14分
場 所 上市町役場2階第1会議室

1 開会

2 町長あいさつ

昨日、小学校の統廃合について陽南校区の皆さんに町の考えを説明させていただいたが、大方は想像をしていた内容であった。

昨年の11月に女性だけの「子育て環境検討プロジェクト会議」を開催したが、その中で不登校のお子さんをお持ちの保護者から、自分たちの悩みを聞いてくれる場が欲しいとの要望があった。悩みを聞くということは大事なことで、少しでも解消ができればと考え、2月から相談窓口を開設した。保護者ではないとわからない悩みであり、そのような意見を大切にしていきたい。

3 議事

・ いじめ、不登校、発達障害等への支援について

[事務局一添付資料の説明] 適応指導教室等の不登校支援、教育センターの発達支援

(委員)

相談窓口の利用について、身近過ぎて相談しにくい場合もあり、広報の中に県の機関なども明記しておけば良いと思う。

(町長)

新年度に入ったら、頂いた意見を参考に保護者宛に周知したい。

(委員)

できれば、ママ友ネットワークなどでも紹介できればと思う。個人間の口伝も有効である。

(町長)

確かに行政はPRが下手で、町の子育て支援策を知らない方が多い。来年度に子育て支援策をまとめたHPを開設していく。

(委員)

チラシについて、例示し、どういう時に相談ができるのかイメージできるものになればいい。裏面を大事に使っていただければいいと思う。あとは、運用の仕方を改善しながら進めていただきたい。

(委員)

支援。相談先の一覧を裏面に掲載してはどうか。それと、「発達障害」では強く感じるので、「発達に関わる」など言葉を柔らかくしてはどうか。

(委員)

個別の教育支援計画について、小学校から中学校への持ち上がりについて、しっかりと進めていただきたい。

- ・ 教職員の多忙化解消について

[事務局－添付資料の説明]

令和4年度で、給食費の公会計化（独自方式）、G I G Aスクール運営センターの開設、小学校水泳授業の業務委託、教室のワックス掛け業務の委託、中学校部活動の地域移行を予定。

(町長)

教職員の多忙化解消については、昨年度作成の教育大綱に初めて記載した。県には町も進めていくので、県も考えてほしいと要望をしている。学校行事も見直すべきではないかと思う。教員が仕事を家に持ち込むことが以前は当たり前になっていた。具体的にこれは無くてもということを出すことは難しいと思うが、取り組んでいかないといけない。

(委員)

教員時代を思い出すと、行事などは大変だとは思いますが、子どもたちのことを考えると成長につながる行事もある。授業の指導や研修などが改善されればと思う。

(町長)

学校訪問研修など改善ができないものか。

(教育長)

学校訪問研修は授業改善のためにも必要なものと考えているが、指導案の作成について、直すのは1回だけ、あとは各教員の裁量に任せるよう、各校長や教育事務所をお願いをしている。

(委員)

小学校は大事な地域行事もあるが、コロナ禍だからこそ見直すチャンスと捉え、子ども目線を大切に考えていく必要がある。

(町長)

何が教員の負担軽減につながるのか。教育委員会での議論をしてもらいたい。上市の取組みを見せていかなければならない。

(委員)

授業以外の業務が多い。校長の権限が強く、若い先生が意見を言えないとの声を聞いた。仕事が多いのに教員は足りておらず、忙しいがために先生同士のコミュニケーションが取れず、周りに相談できていないように感じる。学校任せでは減らないのではないか。教育委員会が現場の意見をもっと訊いて入っていかなければならないと思う。

(委員)

水泳授業の委託に、折角なので着衣水泳の機会を設けてもらえればと思う。